



2004年度課題

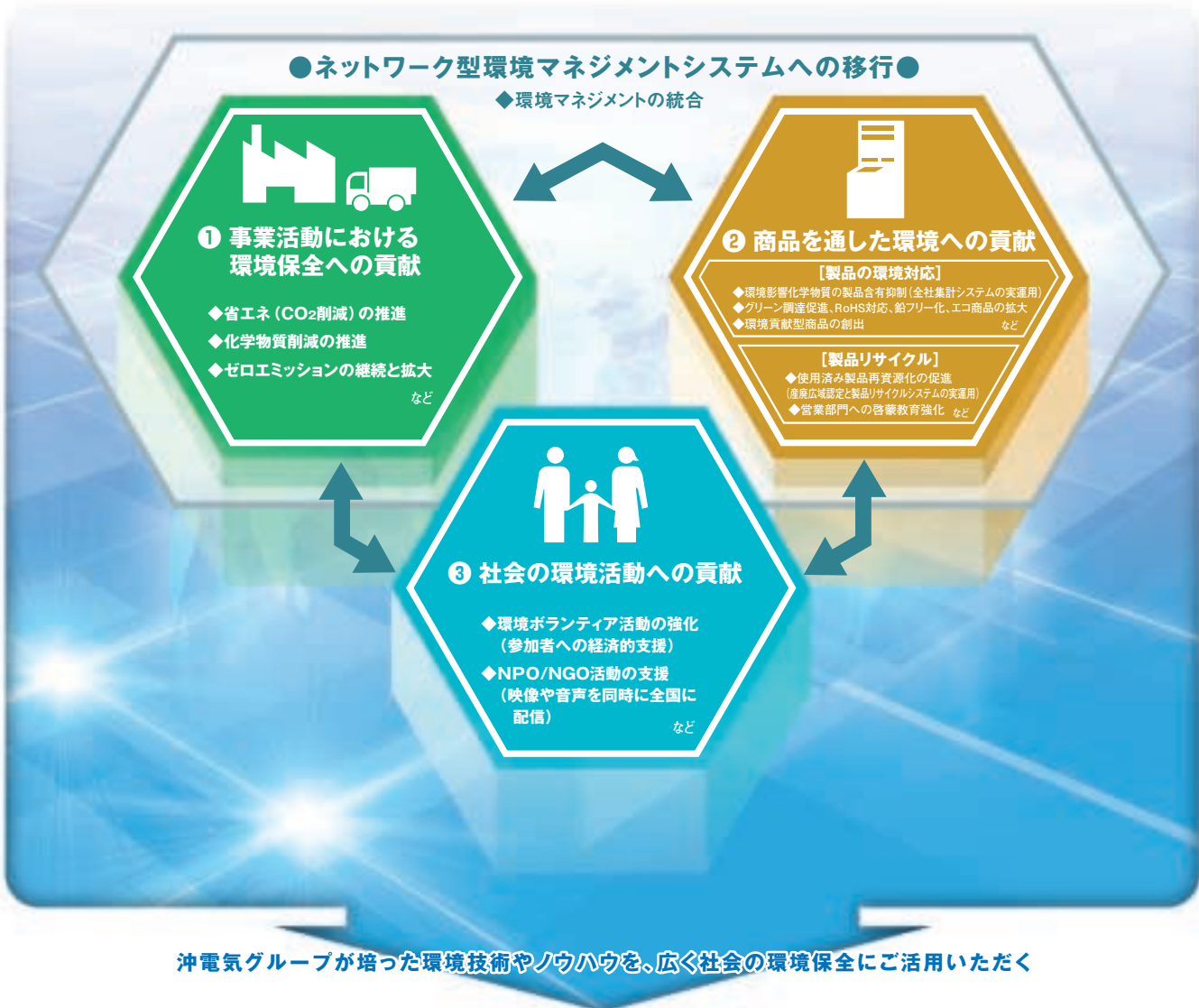
2003年度は「商品を通した環境への貢献」を重要課題とし、「商品に含まれる環境影響化学物質の抑制」と「使用済み製品の再資源化」などに取組み、一定の成果を得ることができました。たとえば、環境影響化学物質の製品含有については全社集計システムの統合を図りました。RoHS規制対応の一環である鉛フリーはんだ化も目標を達成しました(国内新規設計品)。使用済み製品の再資源化については、産廃広域指定をとり、使用済み製品の「リユース、リサイクル、再資源化」を推進する体制

が整いました。2004年度も引き続き、「①事業活動における環境保全への貢献」の継続的改善および「②商品を通した環境への貢献」に注力すると共に、「③社会への環境活動への貢献」にも積極的に取組み、環境活動“三つの柱”を積極的かつ着実に推進し「e社会^{※1)}」の実現を目指します。特に2004年度は、下記事項を重要テーマと位置付け取組んでいきます。

※1)e社会[®]:「グローバルに張り巡らされたネットワークを基盤として、時間と空間の制約、国・地域や文化の違いを超え、あらゆる社会活動が「個」を中心に公平で安全、確実に行なわれる良い社会」。沖電気の登録商標。

- ネットワーク型環境マネジメントシステムへの移行
- 環境ソリューション提供による環境貢献

2004年度の重点活動（枠組み）



●環境ソリューションの提供による環境貢献●

「マーケティング/商品企画」 → 環境ISO認証取得コンサル、環境報告書作成コンサル、環境教育 など

「設計 / 開発」 → 含有物質分析サービス、放熱ソリューション、エコケーブル など

「調達 / 製造」 → 水質管理システム、オゾンシステム、部品冷却型はんだ付け技術 など

